

科目分類	専門基礎科目 健康の理解と健康支援	開講時期	1年	後期		
授業科目	形態機能学□					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	2単位	60時間	授業形態	講義
担当教員	茂庭 将彦					
メールアドレス	n-moniwa@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	在室時いつでも可			

授業目的	<p>疾病の発症機構および治療、日常生活との関係等を学ぶための基礎知識として、人間の人体の構造と機能を学習する。また、生体が生きているということ、生きるために必要な仕組みやそれぞれの臓器間の関連について科学的に理解する。</p>	
授業概要	<p>人体を構成し、人がより良く生きるためにコントロールする神経系、感覚器、内分泌、消化器系、代謝、泌尿器系、生殖器系の基本的な構造と機能、加えて、それぞれが巧妙に関連して発展または衰退する生物体としての「人」のからだについて教授する。</p>	
授業内容	<p>第1回 人体の構造と機能の概要 第2回 脳と神経系(脳の構造と機能・脳と神経) 第3回 脳と神経系(高次神経機能) 第4回 脳と神経系(自律神経の中樞調節) 第5回 脳と神経系(神経と神経細胞の興奮伝道) 第6回 脳と神経系(抹消自律神経系の構成、交感神経系・副交感神経系) 第7回 感覚器系(感覚受容機序、人体感覚生理学) 第8回 感覚器系(痛覚・視覚・聴覚・味覚・臭覚・平衡感覚) 第9回 まとめ 第10回 内分泌系の調節機構 第11回 内分泌系(視床下部・下垂体) 第12回 内分泌系(甲状腺・副甲状腺) 第13回 内分泌系(副腎・膵ランゲルハンス島) 第14回 内分泌系(性腺ホルモン・その他)</p>	<p>第15回 消化器系(食物摂取・咀嚼・嚥下・消化・吸収・排泄) 第16回 消化器系(胃・小腸・大腸の消化と吸収・排便の調節) 第17回 まとめ 第18回 消化器系(肝臓・胆のう・膵液の機能) 第19回 代謝(栄養素の働きと代謝) 第20回 代謝(体温調節) 第21回 泌尿器系(尿の生成・腎臓の働き) 第22回 泌尿器系(糸球体・尿細管) 第23回 泌尿器系(尿路・排尿) 第24回 泌尿器系(酸塩基平衡) 第25回 まとめ 第26回 生殖と老化(女性の生殖器・男性の生殖器) 第27回 生殖と老化(受精と発生) 第28回 生殖と老化(個体としての成長) 第29回 生殖と老化(更年期・老化) 第30回 全体のまとめ</p>

教科書 参考書等	教科書：系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 2012 坂井建雄、岡田隆夫 医学書院
成績評価 基準・方法	試験 70%、小テスト 30%、合格基準は 60%以上
履修要件	特になし
留意事項 その他	特になし